



園庭に出て泥んこ遊びができる日が続いています。先日は、砂場で山を作っていたのですが、砂だけでは大きな山が作れず途中で砂が崩れてきます。そこで保育者が水を少しかけることで山になった砂が硬くなると、手でそっと触りながら砂の変化に気付いたようです。大きな山を友だちや保育者と一緒を作って楽しんでいました。暑さを感じてか、水に触れて遊ぶことが気持ちいいと泥水の中に友だちと一緒に寝転がっている子もいました。

プランターの枯れた花を使って色水遊びをしました。カップに大量の水を入れて花を混ぜる事に夢中でしたが、保育者が色水を作っていると、花から色が出ているという事が分かり、やってみようとチャレンジし始めます。すると、水の色が変わると「先生見て、色変わったよ」と嬉しそうに見せてくれました。自然を使っての色水遊び、そして、屋上での水遊び、プール遊びをこれからもっと楽しんでいきたいと思えます。



水、冷たいね！



きゃー！気持ちいい



この花いい？



えっその花入れるん！



どんな色になるかな！



カナヘビ捕まえた！



カタツムリのごはん
ください

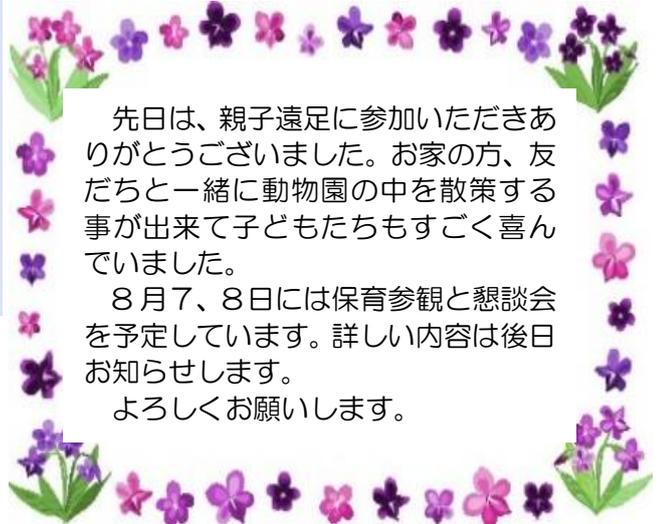


保育者が小さな虫たちを連れてきました。子どもたちは何の虫？とそれぞれが、小さな図鑑を手に調べ始めました。友だちと一緒に「これじゃない？」と飼育ケースの中の虫と図鑑を見比べています。すると“おたまじゃくし”“かたつむり”“カナヘビ”という事が分かりました。朝、登園してくると、保育者が「おはよう」と声をかけていると、子どもたちも真似をして、その虫たちに「おはよう」と言って飼育ケースを覗き、お世話をしています。カタツムリには、霧吹きで水をかけてあげます。そして、給食室へ行きカタツムリやダンゴムシのご飯となる野菜をもらいあげていました。オタマジャクシにもニンジンを入れてみましたが、食べないという事が分かりました。おたまじゃくしも、数日後には足が出てしっぽが段々と短くなっていきカエルへと変わっていく姿も見ることができました。飼育ケースの中ではカエルは狭くてジャンプがあまりできなかったため、田んぼへと帰してあげることにしました。カナヘビは、食べるものが蜘蛛やバッタと分かったのですが、自分たちではカナヘビのご飯を捕まえる事が出来ず…カナヘビの脱皮していく姿を見る事が出来たのですが、日に日に弱っていくカナヘビ…とうとうカナヘビ1匹が死んでしまいました。お部屋の中に虫たちがいて一緒に遊ぶことは楽しいのですが、育てていくとなるとちょっと難しさも知る事が出来ました。



ダンゴムシ、
ごちがしー

水、こんなもんかな？



先日は、親子遠足に参加いただきありがとうございました。お家の方、友だちと一緒に動物園の中を散歩する事が出来て子どもたちもすごく喜んでいました。

8月7、8日には保育参観と懇談会を予定しています。詳しい内容は後日お知らせします。

よろしくお願いいたします。